

きもつき119



平成29年11月

第91号

消火訓練実施
(志布志石油備蓄基地内)



平成29年秋季火災予防運動

11月9日から15日まで

編集・発行 大隅肝属地区消防組合
TEL 0994-52-0119

HP (<http://www.fcd-kimotsuki.jp/>)
「きもつきしょうぼう」入力でクリック



管内人口	平成29年7月31日
142,378人	世帯数
男 67,822人	70,136世帯
女 74,556人	

平成29年秋季火災予防運動の実施

実施期間：平成29年11月9日(木)～11月15日(水)

目的

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図ることで、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として、毎年春と秋に実施しているものです。

実施内容



火災予防グラウンドゴルフ大会

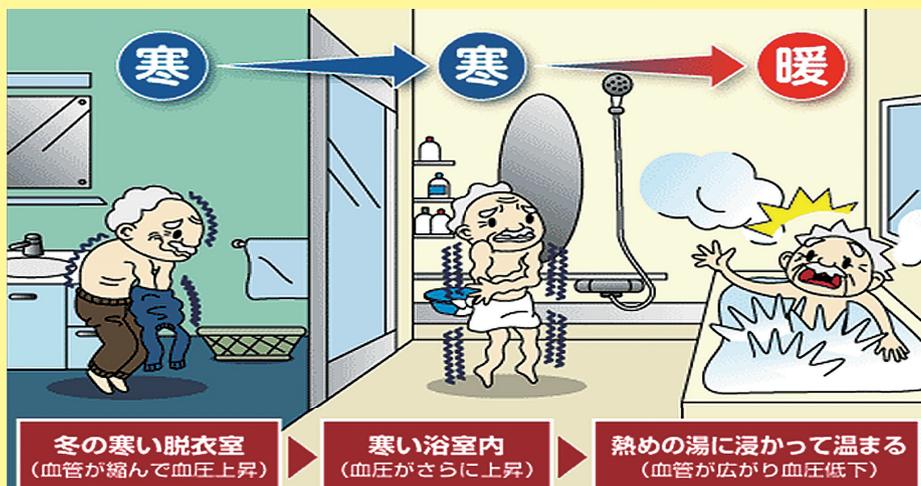


高齢者を対象とした防火教室

消防団と消防署の合同訓練



この他にも、防火パレードや防火広報など、いろいろな方法で防火を呼びかけています。



寒い日はヒートショックに注意

ヒートショックとは、温度の急激な変化で、血管が収縮、拡張して血液の流れが悪くなり、血圧が上下して意識を失ってしまったり、脳卒中や心筋梗塞が起ってしまいう症状です。

全国では、入浴中に死亡される方が毎年二万人弱と、交通事故の死亡者より多くなっています。

- ヒートショック対策・予防**
- ① そもそもヒートショックは、部屋と部屋の温度差が原因です。脱衣所と浴室の温度差をなくす工夫を考えましょう。
 - ② かかり湯をしてから浴槽に入る。まずは徐々に体を温めると効果的。
 - ③ 浴槽から出る時など、急に立ち上がらない。急に立ち上がると起立性低血圧を起こし、血圧が急に下がることがあります。
 - ④ 入浴する前にコップ一杯の水を飲む。体の水分が少ない状態であると、血液がドロドロになり、脳梗塞や心筋梗塞になりやすくなります。
- ヒートショックは、防げる症状です。家族全員で予防しましょう。

- 注意！ヒートショックを起こしやすいのはこんな人**
- ① 65歳以上である
 - ① 高血圧、糖尿病、動脈硬化などの持病をもっている
 - ① 肥満気味である
 - ① 不整脈が起こることがある
 - ① 自宅の浴室に暖房設備がない
 - ① 一番風呂に入ることが多い
 - ① 熱いお風呂が好き
 - ① お酒を飲んでからお風呂に入ることがある



磯釣りでの事故をなくそう

- 救命胴衣を着用しよう
釣り場へ行く途中の海中転落に備えて、移動中から救命胴衣を着用しましょう。
- 防水バックに入れた携帯電話を携行しよう
せっかく携帯電話を持っていても、海中に落ちてしまえば使えなくなる機種が大半です。緊急時に備え携帯電話を防水バックに入れ、連絡体制を確保しましょう。
- 安全な場所で釣りをしよう
高波にさらわれたり、磯場から転落したり、満潮となり磯から帰れなくなったりするような事故が絶えません。磯場の地形や足場、潮汐等を事前に調査して、安全な場所で釣りをしましょう。
- 気象・海象の状況入手しよう
天気は変わりやすいもの。MICS（海上保安庁：海の安全情報）やラジオ放送等から常に気象情報入手するとともに、周囲の状況からしけの気配を感じたときには、早めに切り上げましょう。
- 体調を整えよう
釣り場までの長時間の移動による睡眠不足や疲れはありませんか？
このような状態で、重い道具を持ちながらの磯場の移動は大変危険です。ましてや、釣り中の飲酒なんてもつてのほか！十分に体調を整え、余裕を持った計画を立てましょう。
- 複数人で行動しよう
万一、海中転落者や怪我人が発生したときに備え、複数人で行動することをお勧めします。もちろん、家族には行き先を教えてください。



避難は『より遠く』ではなく『より高いところ』へ。強いゆれや、または弱くても長い時間ゆっくりとしたゆれを感じたときは、直ちに避難しましょう。



津波警報が出たら、ゆれを感じていなくても避難しましょう。津波注意報でも、海水浴や磯釣りには行わないようにしましょう。



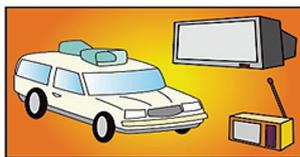
津波はくり返しやってきます。避難しても警報、注意報が解除されるまで気をゆるめず。



津波は海岸に近付くと急に高くなります。



津波が川をさかのぼってくることも。海や川の近くには絶対に近づかない。



正しい情報をラジオ、テレビ、広報車などを通じて入手しましょう。

災害は忘れたころに...

地震災害では、建物の倒壊や火災、崖崩れなどとともに、津波も警戒が必要です。
二〇一一年の東日本大震災で甚大な被害が発生したのは、皆さんご存じだと思います。
しかし、今年で六年が経過し、その記憶もだんだん薄れてきてはいませんか？今一度自分の身を守るためのポイントを再確認してみましょう。

忘れていませんか!!

防火対象物の所有者、
管理者の皆さまへ

消防用設備等が皆さまの生命と財産を火災から守ります。確実に作動するように定期的に点検することが大切です。



Q1 消防用設備等の点検は、なぜ必要ですか。

A1 消防用設備等は、水道や電気などと違って普段使わないので、設備が古くなって故障しても点検をしていないと気が付きません。もし、火災の時に故障して使えなくなったりすると、大きな被害を招く結果になります。

Q2 消防用設備等の点検を行う責任は誰にありますか。

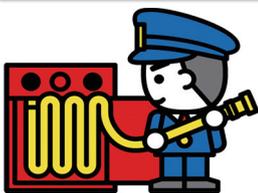
A2 消防用設備等の点検・報告義務のある人は、防火対象物の関係者（建物所有者・管理者・占有者）です。

Q3 消防用設備等の点検期間と消防署への報告について教えてください。

A3 消防用設備等の点検は、点検業者に任せつきりにせず、必ず立ち会って、点検内容、設備の状況を自ら把握してください。点検期間と消防署への報告は左図のようになっています。

点検期間

機器点検 6ヶ月に1回
総合点検 12ヶ月に1回



報告

特定防火対象物 ※1年に1回報告
非特定防火対象物 ※3年に1回報告



違反対象物の公表制度

防火対象物の利用者等の安全・安心のために
平成30年7月1日から
違反対象物の公表制度が始まります。

●違反対象物の公表制度とは??

ホテル、飲食店、物品販売店舗など不特定多数の方が利用される建物や、病院、社会福祉施設など一人で避難することが難しい方が利用される建物のうち、立入検査によって重大な消防法令違反（屋内消火栓設備、スプリンクラー設備又は自動火災報知設備のいずれかの未設置）のある建物を確認した場合に、これらの建物の情報を大隅肝属地区消防組合のホームページ等に掲載し、公表する制度です。

●公表までの流れ

消防の立入検査において違反を把握し、関係者に通知した後、14日を経過しても違反が継続している場合に公表します。

●公表の方法

- ・インターネットによる公開
- ・消防本部及び消防署・分署での閲覧

●公表の内容

- ・建物の名称
- ・建物の所在地
- ・違反の内容

●防火対象物の関係者の方々へ

公表の対象となる違反対象物は、無届による増改築や用途変更により、本来設置しなければならない消防用設備が未設置となることで発生することがあります。
増改築や用途変更等検討している場合は、事前に消防署に相談してください。



高機能消防指令センターの紹介



平成29年1月31日に消防緊急通信指令システムが更新されました。

消防・救急活動を的確・迅速に行うため、最新の情報処理システムにより、情報収集処理業務及び指令管制業務の自動化が図られ、住民の皆様様の「安心・安全な暮らし」を守るための活動を支援するシステムとなりました。

24時間体制で4人の通信指令係員が住民からの緊急通報に備えています。

119番通報の位置を瞬時に特定できる「統合型位置情報通知システム」や、災害現場直近の車両が自動的に出動隊として編成され、災害地点までの音声ナビゲーションが可能な「車両動態管理システム・GPS付き車両運用端末装置」が導入されました。また、消防救急無線のデジタル化により、高い秘匿性・クリアな通信での無線交信が可能となりました。

大隅肝属地区消防組合ホームページの紹介



大隅肝属地区消防組合ホームページ上では、様々な役立つ情報を掲載しています。スマートフォンからのアクセスも可能ですので、ぜひ閲覧してみてください。

休日当番病院の案内

管内の休日当番病院及び電話番号

各種申請書

消防機関への申請及び届出等の各種様式

お知らせ

訓練の様子や講習の案内など

救急便利帳、消防便利帳

119通報要領、応急処置ポイント、消火器取扱いなど

表紙にホームページアドレス・QRコードを掲載しています。

パソコントップページ



スマートフォントップページ



お知らせ



テレホンガイド(43-0119)での休日当番病院案内も行っております。有事の際には、火災や救助などの災害状況も案内されます。

119番での当番病院問い合わせがありますが、119番は緊急時対応の回線となっておりますので、電話でのお問い合わせは消防本部代表電話(52-0119)をご利用ください。

全国大会出場!!



肝属消防野球部は第六十八回全国官公庁野球連盟鹿児島県予選において創部以来初めての優勝をかざり、八月二十日から東京都で開催された全国大会に出場しました。多くの皆様から御支援・御協力を賜り、誠に有難うございました。

全国消防救助技術大会



第四十六回国消防救助技術大会が八月二十三日、宮城県で開催されました。本組合からロープ応用登はん南部消防署の豊重彰太消防士長・末吉紘大消防士長が出場し、日頃の訓練の成果を発揮しました。

新消防職員紹介

平成二十九年度、七名の新人消防士が仲間入りしました。六名は消防学校初任科教育を卒業し、それぞれの所属する消防署で毎日頑張っています。



加治木友樹
21歳
鹿屋市有武町中央消防署

人には優しく、自分に厳しく初心を忘れることのないように全力で住民の皆さんに安心、安全を届けられる消防職員になりたいです。そして、少しでも早く先輩方に追いつき、仕事を任せてもらえるように努力します。



前原 秀泰
23歳
鹿屋市川西町東部消防署

消防士になった事に満足せず、消防精神の涵養に努め、先輩方のご指導を真摯に受け止め、地域住民の方々から信頼される消防士に成長していきます。また、高い目標を持ちながら日々の訓練に励み、技術と知識を身に付け、地域の方々と一緒に安全安心な街づくりに貢献し、生活を守る消防士になれるよう努力します。



坂中 和真
24歳
鹿屋市笠立之原町中央消防署

5年半、大阪で消防士として勤務し、今年から大隅肝属地区消防組合で働くこととなりました。初心を忘れることなく、努力を重ね、地元で貢献できるように頑張ります。また、これまでの経験も活かしながら、さらに新たな知識、技術を習得できるように日々精進していきます。



西柳有輝也
18歳
鹿屋市西原南部消防署

消防士としての知識や技術もまだまだ未熟ではありますが、若さを武器に日々の訓練を怠らせず、一日でも早く先輩方に追いつけるように頑張ります。また、公務員としての自覚を持ち、地域の方々が安心して暮らせる街づくりに貢献していきます。



山下 翔平
19歳
錦江町田代南部消防署

何事にも向上心を高く持ち、一日でも早く先輩方に追いつけるように、日々の訓練や体力トレーニングに全力で取り組みます。そして、全ての事において妥協せず、日々の生活から公務員であることを自覚し、意識を高く持ち、仲間そして住民の皆様から必要とされる消防士になります。



神田 耕太
20歳
肝付町北方東部消防署

消防士として必要な心・技・体を鍛え、いち早く戦力になれるよう、先輩方の技術をたくさん吸収しながら、日々訓練に励んでいきたいと思っています。そして、一日でも早く、地域住民の方々へ安全安心な街づくりに貢献できるよう、努力していきます。



松清 真也
21歳
志布志市志布志町中央消防署

消防士としての知識や技術を少しでも多く身につけるために日々の訓練や勉強に一生懸命取り組みます。そして、地域の方々に貢献できる消防職員になりたいです。また、一日でも早く信頼してもらえるように努力していきます。